

主要3指標改善も小

米中摩擦など全業種では

全国中小企業団体中央会(全国中央会)が7月25日に発表した6月の中小企業景況調査によると、運輸業は主要3指標とも前月から改善したものの総じて小幅にとどまった。

6月中小企業景況調査

5月が10連休による荷物の対し6月は改善し動き停滞の影響から各指

景況DIは前月より
0・5改善のマイナ
26・6、売上高DIは
2・9改善のマイナ
22・7、収益状況DIは
2・0改善のマイナ
27・4だった。
全業種では主要3指標
が前月より悪化した。米
中貿易摩擦や中東イラン
情勢などの外的要因から
業種によっては受注減少



5(前月マイナス23・
3)とマイナス20台から
は改善を示した。販売価
格9・4(同7・8)、
取引条件マイナ1・6
(同マイナス3・1)も前
月から改善、資金繰りは
態など不安要素とする声
が聞かれ、今後の動きを
注視。ほか「人手不足に
悩まされ、働き方改革へ
の対応にも苦戦中(トラ
ック運送業)」と引き続き
雇用対策が大きな課題と
なっている。

ラストワンマイル協組

「オリコン便」開始

梱包材使用せず経済的

EC配送など行うラス
トワンマイル協組合
ス「オリコン便」を開始し
(志村直純理事長)は8
月、配送依頼主にとっ
ては作業軽減とコスト削
減が図られ、受取人は梱
包材を始末する必要がな
くなるメリットがある。
環境負荷低減につながる
同サービスは、定期配送
コースが対象となる。

通販利用者にとつての
悩みは、溜まってしま
うダンボールなどの商品梱
包材。これら処分の相談
を同組合のドライバーが
受け、開発された。
専用の折りたたみコン
テナで商品を詰め、受取
人が開封し取り出し、空
いたコンテナを持ち帰る
仕組み。ラストワンマイ
ル協組合では、定期購
入の顧客を多くもつ販売
会社に他社との差別化が
「オリコン便」で図れる
と利用を促す。
さらに同組合の「置配
便」と組み合わせること
も可能だ。この場合は、
コンテナの回収は次回配
達日となる。

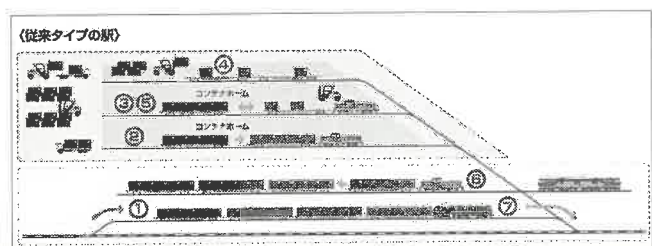
不動の東夕、4年連続の首位

貨物駅ランキング

JR貨物 上位3位は変わらず

日本貨物鉄道(真貨東
一社長)はこのほど、1
日平均の発着トン数を集
計した2018年度「貨
物駅ランキング20」を公
表した。
これによるとコンテ
ナ・車扱の合計で、東京
貨物ターミナル駅が首位

に立ち、次いで根岸、札
幌と上位3位は昨年と変
わらず、2015年度以
来4年連続の首位をキ
ープした。
コンテナ・車扱の全体
をみると、コンテナは2
年ぶりの減少、車扱は3
年ぶりの減少となり、合
計で2014年度以来5
年ぶりの減少となった。
東京夕は、前年の87
00トから1割減少した
ものの、7842トを確
保、車扱のウエイトが高
い根岸が7343ト(前
年7697ト・全在比95
%)、札幌夕は7245
(同7502ト・同97%)
となっている。
また、モト別ではコ
ンテナが、東京夕の78
37ト(同8694ト・
同90%)、札幌夕が72
45ト(同7502ト・
福岡夕は4918ト(同
6887ト・同6887ト
・同71%)となった。
併せて、車扱では臨海
部の製油所に直結する根
岸が7343ト(同76



JR貨物 E&S 横浜

97ト・同95%)で17年
連続の首位、次いで倉敷
野の3692ト(同41
93ト・同95%)、宇都
宮夕の3850ト(同4
025ト・同96%)だっ
た。
影響に
増送した。併せて、新潟
夕は、2017年度の
1、2月に新潟地区で記
録的な大雪となったため
の増産
に伴い、専用列車輸送が
増送した。併せて、新潟
夕は、2017年度の
1、2月に新潟地区で記
録的な大雪となったため
の増産

常荷役線2面3線まで37両
線に荷
列車到着
簡素化する一方で、増産
を図っている。併せて、
日に10本(上り4本、下
り5本、下りからの折
返し1本)の列車が停車
は着発
し、年間34・8ト(18年
度は実績)を取り扱う。

同社では「鉄道貨物輸
送の大動脈である東海道
線に位置し、今後は停車
列車を増やし拡大を図る
と方向性を示した。
同駅は、相鉄・JR直
通線の開業に伴い新設さ
れ、「羽沢横浜国大」駅に
隣接する。

ゲートWEST 説明会開く

JR貨物

2日、
予定の
見学し、詳細な説明を行
いその利用価値をアピ
ルした。また、同施設は
鉄道貨物輸送を利用する
と施設賃料が割り引き
となるインセンティブを
設定しており、希望者の
期待が寄せられた。
日本最大の貨物駅「東
京貨物ターミナル駅」構
内に位置するマルチテナ
ント型の物流施設。羽田
空港、首都高IC、東京
港に近隣し、陸・海・空
の結節点として今後の活
用が注目される。
所在地：東京都品川区
サプライチェーンの新
たな施設に

八潮3-1-3、用途地
域準工業地域、延床面
積17万2039・8
3平方メートル(2万179
2・04坪)、床面積1
4万3291・54平方
メートル(1万3095・65
坪)、地上7階建て、R
C構造、梁下有効高・柱
スパン15・5メートル
/10・5メートル、5m、
床荷重1・5t/m²、パ
ース数(1フロアあたり)
24台、倉庫内設備(1
フロアあたり)ドック
ペラー4基、BCP(免
震構造、非常用発電機
(72時間対応))。

の適正な流
通基準にお
けるGDP
に準拠した
空調設備と
防塵塗装、
非常用発電
機も備え
た。
線に隣接し
ているほか
福岡空港の
500m圏内にあり、航
空貨物輸送、九州域内輸
送を行う上で優れた立地
にある。
住所は福岡県福岡市博
多区榎田2丁目9番4
号。

大型トラック

自動運転「レベル2」導入

三菱ふそう 今秋に発売

三菱ふそうトラック・バス(本社：神奈川県川崎市、ハートムット・シックス社長CEO)は、商用車で初めて自動運転「レベル2」(部分自動運転)機能を導入した大型トラック「スーパーグレート」を秋に発売する。7月24日、都内で開いた報道向け技術説明会で明らかになった。

19年型大型トラック

「スーパーグレート」に
搭載の「レベル2」新技
術は、①アクティブ・ド
ライブ・アシスト(A
D)②アクティブ・プレ
ードアシスト5(A
B)③インテリジェン
ト・ヘッドランプ・コン
トロール(IHC)④交
通標識認識機能の4
種。



5は、従来のリーダーに
加えてフロントガラスに
商用車初の「レベル2」導
入している。

福岡に新倉庫

日通 空港そば保税蔵置場



竣工式を行った福岡中央ロジスティクスセンター

日本通運(齋藤亮社長)
はこのほど、福岡市に完
成した「福岡中央ロジス
ティクスセンター」の竣
工式を行った。医薬品、
精密機器などの保管、輸
送に対応する。
同センターは鉄骨造の
4階建て、倉庫面積は心

さし部分を含め9792
平方メートル。1階は保
税蔵置場と一部を低温倉
庫として運用。2階以上
は医療用フィルタ、精密
機器の保管などに対応。
住所は福岡県福岡市博
多区榎田2丁目9番4
号。